



2018年3月26日
SMBC日興証券株式会社

2018年度春季部店長会議 清水社長 発言要旨

今年度は皆さんの頑張りのおかげで、中期経営計画の1年目として、絶好のスタートが切れたと考えています。2018年度は引き続きお客さま本位の業務運営の徹底はもとより、質と量のバランスをとりながら、中期経営計画最終年である2019年度には本邦No.1が狙える地位の確立を目指します。各種具体的施策の確実な実践を通じ顧客基盤の拡大などの持続的成長への取組みを進めてください。

ここからは、皆さんにご認識いただきたいことをお伝えします。

まずは、働き方改革についてです。これからは労働生産性の向上が不可欠になります。当社としても業務の無駄を省いて創出した時間を、付加価値をつけて対応すべき仕事に使うことが重要になります。労働生産性の向上が、お客さまの満足度向上や社員の満足度向上に繋がり、会社の持続的な成長にも繋がる良い循環を作り出すことが、真の意味での働き方改革だと考えています。当社は今後もAIやRPAの活用を積極的に進める一方で、戦略分野・戦略部門に対しては、人材を厚く配置していきます。テクノロジーと人との融合は、当社における重要な差別化戦略です。

次に、当社のDNAについてです。本年7月7日に当社は創業100周年を迎えます。この機会に、創業者である遠山元一の経営の方針、生き様を、今一度振り返っていただきたいと思います。遠山元一は創業以来一貫として、証券業界の地位向上を使命とし、「得意先との共存共栄」と「親切で正直」という考えを大切にしていました。この考えは当社の経営理念、スローガン「いっしょに、明日のこと。」や、お客さま本位の業務運営とまさに一致するものだと思います。創業当時からの考えを持っていたからこそ、当社は100年続く会社になったのだと思います。もう1つお伝えしたいのは、当社の100年を振り返ると、お客さまのために業界をリードするような商品・サービスを、いくつも創造してきた歴史があるということです。イノベーションを生み出す社風は、当社の強みだと考えています。

最後になりますが、創業100周年はまずなによりも、これまで長年にわたりご愛顧いただいたお客さまに感謝の意をお伝えください。そして今後も、お客さまのことを良く知り、お客さまにとっての最善の利益、真のニーズは何かを考えて想像し、商品・サービスを提案する。お客さまのニーズに合う商品・サービスがなければ、創造してください。

引き続き、当社に100年根付く、お客さま本位の業務運営とイノベーションというDNAを、今後も発揮して、仲間となった旧SMBCフレンド証券出身の方々とも一緒に、次の100年の当社繁栄の礎を築いてほしいと思っています。

以上